

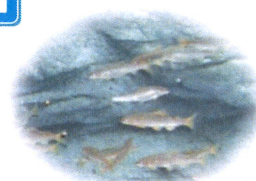
「リュウキュウアユを探してみよう！」

日時：令和元年7月6日（土）9：00～10：30

場所：戸口地区振興センター

講師：興 克樹 さん

参加者：児童58人、保護者26人、未就学児3名、学生ボランティア2名、計89人



リュウキュウアユや外来種についてお話を聞きました。

外来種の問題や危険性についても教えてもらいました。



実際に川に住んでいる生き物を観察しました。



講座で学んだことを発表してくれました。

第3回子ども博物学士講座は、前日までの雨により残念ながら戸口川での観察は行えませんが、ボランティアの学生2名も参加し、戸口地区振興センターにて興克樹さんのお話を聞きました。

今回は絶滅危惧種にもなっているリュウキュウアユや、川に住みついている外来種について。リュウキュウアユが普段何を食べているか、どんなところに住むのかなど教わりました。また、普段自分たちが住んでいる近くの川にカミツキガメやティラピアなどがいると知ると、みなさんととても驚いていました。

大勝小3年大濱佑灯さんは「リュウキュウアユが小さい魚を食べると思ったけど石についている藻を食べる」ことに驚いたそうです。秋名小6年森吉一喜さんは「外来種は在来種を食べるだけではなく、住みかをなくしたり人に危害を与えること」を初めて知ったそうです。

最後に、興先生が連れてきたスッポンやエビなどの川の生き物を全員で観察しました。間近で見れるとあってみなさん興味深く観察していました。

奄美大島でも現在外来種が数を増やし、昔から住んでいる生き物（在来種）の生態を脅かしています。

在来種を守るために、私たちに何ができるのか。興先生が教えてくださったことを踏まえて、みんなで考えることができました。